

水戸赤十字病院
広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177(代表)
<http://www.mito.jrc.or.jp>

隔月刊
2026.7

Vol. 60



虹

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します



〈目 次〉

特集1 診療科紹介「産婦人科」

特集2 理学療法士の知られざる世界



Japanese Red Cross
水戸赤十字病院

当院で誕生した赤ちゃん



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

水戸赤十字病院

TAKE FREE
ご自由にお持ちください

プレゼント付 詳細はP.7へ
アンケート企画実施!



私たちは地域の女性の健康を支えます

当院産婦人科は、地域の中核病院として、産科・婦人科ともに幅広い診療を提供しています。産科では地域周産期母子医療センターとして、多職種連携による高度で安全な周産期医療を提供するとともに、2025年12月より産痛緩和法（無痛分娩）を導入いたしました。

婦人科では、良性・悪性いずれの疾患にも対応し、腹腔鏡手術やロボット支援手術など低侵襲治療を積極的に導入することで、患者さま一人ひとりに最適な医療を提供できるよう研鑽を積んでいます。

産科

チーム医療で支える 安心の分娩体制

周産期医療は「チーム医療」です。当院はお産にかかせない助産師の活躍により、助産師外来や院内助産を通じて、妊産婦に寄り添ったケアを行っています。また小児科・麻酔科などと、それぞれの専門性を活かし、ミドル～ハイリスク妊婦について定期的にカンファレンスを行うことで、安心して出産できる環境づくりに取り組んでいます。

産科

産痛緩和法（無痛分娩）の導入

出産において、産痛による身体的・精神的負担は大きいものです。当院では、この産痛を緩和する一つの選択肢として、硬膜外麻酔を用いた産痛緩和法を2025年12月より導入しました。麻酔は医療介入であり、合併症のリスクも伴います。そのため、導入にあたっては、産婦人科・麻酔科・小児科・助産師・看護師など多職種でチームを作り、安全に配慮した体制を整備しています。十分な説明と理解のもとで選択ができるよう、患者さま一人ひとりに寄り添いながら提供しています。

婦人科

幅広い疾患に対応する総合医療

婦人科では、子宮筋腫・卵巣嚢腫などの良性疾患から、子宮頸がん・卵巣がんなどの悪性腫瘍まで幅広く対応しています。患者さまの症状やライフステージに応じて、低侵襲治療や妊孕性温存にも配慮した治療を行い、より良い生活の質の提供を目指しています。

良性疾患

- ・子宮筋腫
- ・卵巣嚢腫
- ・骨盤臓器脱
- ・子宮腺筋症
- ・子宮内膜症

悪性疾患

- ・子宮頸がん
- ・子宮体がん
- ・卵巣がん

第一産婦人科部長

島田 佳苗

×

第二産婦人科部長

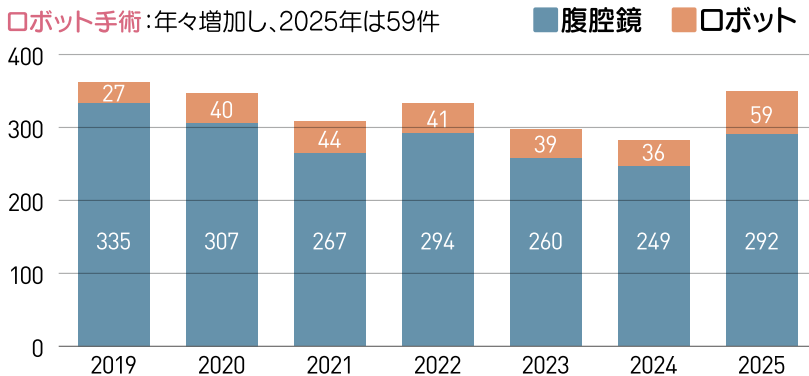
豊澤 秀康

◆低侵襲性手術について

当院では腹腔鏡手術やロボット支援手術などの低侵襲治療を積極的に導入し、患者さまの負担軽減と早期回復を図っています。年間300件以上の手術を行い、近年はロボット支援手術の件数も増加しています。

腹腔鏡手術：年間250～330件

ロボット手術：年々増加し、2025年は59件



当院婦人科の特徴

■低侵襲手術に積極対応

腹腔鏡手術・ロボット支援手術を導入し、身体への負担軽減と早期回復を実現します。

■良性から悪性疾患まで幅広く診療

子宮筋腫や卵巣嚢腫など良性疾患から、婦人科がんまで一貫した診療が可能です。

■チーム医療による集学的治療

他診療科と連携し、手術・薬物療法を組み合わせた最適な治療を提供します。

■患者さま一人ひとりに合わせた医療

ライフステージや妊孕性にも配慮し、個性の高い治療を行います。

◆集学的治療と院内連携

悪性疾患に対しては、手術療法・化学療法を組み合わせた集学的治療を実施。総合病院として他科と密接に連携し、患者さまの症状に応じた最適な治療方針を提案することで、地域の中核病院として高度で安全な婦人科医療を提供しています。

認定遺伝カウンセラーとの連携

産科での出生前診断や、婦人科での遺伝性腫瘍の診断、がんゲノム医療など、遺伝子にまつわる医療が日々進歩しています。

当院産婦人科では、認定遺伝カウンセラーと密に連携し、適切なタイミングで遺伝カウンセリングを行っています。

患者さまへ

患者さま一人ひとりの不安や悩みに寄り添いながら、安心して治療を受けていただけるよう、迅速で丁寧な診療を心がけ、安全で質の高い医療を提供してまいります。

出産を予定されている方へ

「水戸日赤でお産」という選択をしてもらえるよう、スタッフ一同日々研鑽を重ねています。また安心して出産をむかえられる、出産後も満足していただけるよう、一丸となって妊婦さんをケアします。是非、当院でのお産を選択していただければと思います。

各医療施設の皆さまへ

周産期医療の拠点として、地域の周産期医療を支えていきます。今後、「サテライト通院」の実現など地域全体で患者さまを支える医療体制の構築に取り組んでまいります。サテライト通院については是非お声掛けください。

〈薬剤部〉妊娠・授乳とくすり

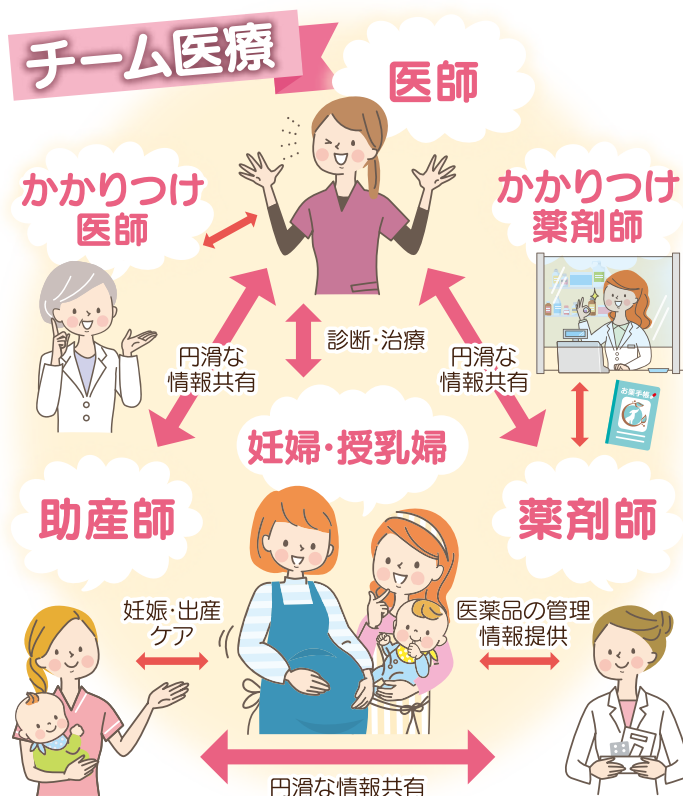


妊娠中のお薬は、妊娠時期（初期・中期・後期）や薬の種類によって、胎児への影響が異なります。また、授乳中については例外もありますが、母親が使用する医薬品が赤ちゃんに大きな影響をおよぼすことは少ないとされています。

当院薬剤部では、妊婦・授乳婦の薬物療法に関する情報を、製薬企業の資料や各種ガイドライン、専門書、論文などから収集しています。医薬品の添付文書は改訂されることがあり、これまで禁忌とされた薬が見直されるなど、情報は日々更新されています。最新の情報を医師・助産師・看護師・スタッフと共有し、妊娠・授乳期の母体の変化や胎児への影響を踏まえた、安全で適切な薬物療法に貢献してまいります。

妊娠中・授乳中にお薬を使用する際には、かかりつけの医師・助産師・看護師・薬剤師に必ずお伝えいただき、情報を共有することが何より大切です。お薬手帳も情報共有の大切な手段の一つですので、ぜひご活用ください。

妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
相 差 範 子



〈看護部〉新人教育支援



新人看護師 -日々成長中!-

当院看護部では、新人から中堅、ベテランまで全看護職員を対象に教育計画を策定し、各階層に応じた多様な研修を実施することで、職員一人ひとりの成長を支援するとともに、看護の質の向上を目指しています。

4月には新たに24名の新人看護師が仲間に加わり、各病棟に配属されました。現在は、看護の基礎から実践的な技術まで、先輩看護師の指導のもとで日々学びを積み重ねています。

加えて、新人教育委員会による定期的な集合研修をとおりて知識と技術の習得を図るとともに、フォローアップ体制も整えています。集合研修は、緊張感のある学びの場であると同時に、同期同士が互いの成長を実感し合い、悩みや不安を共有できる大切な機会となっています。

今後も新人看護師の成長を支え、より良い医療の提供につなげてまいります。



基礎看護技術研修(採血)



基礎看護技術研修(輸液準備)

理学療法士の知られざる世界



～「動ける」を取り戻し、
その先の人生を支える仕事～

理学療法士 ってどんな仕事？

理学療法士は、骨折やスポーツでのケガ、病気、または加齢による体力の衰えなどによって、低下した身体機能の回復・向上を支える専門職です。一人ひとりの体の状態を評価し、運動やストレッチ、筋力トレーニングなどを通じて、身体機能の回復・維持・向上を目指します。

理学療法士
吉沢 隆弘
よしざわ たかひろ

この仕事を選んだきっかけ

学生時代、サッカー部に所属していました。ケガにより思うようにプレーできない時期があり、その際に支えてくれたのが理学療法士のトレーナーでした。身体のケアだけでなく、精神的にも支えていただいた経験が、この道を志すきっかけとなりました。

一度は一般企業に就職しましたが、「自分も誰かを支える側になりたい」という思いを諦めきれず、理学療法士へと転身しました。病気やケガによって日常生活に悩みを抱えている方は、小さな子どもから高齢者、スポーツ選手まで幅広く、多くの方が「動くこと」に困難を感じています。そうした方々が、自分らしい生活を取り戻せるよう支えていくことに、大きな魅力を感じています。

「リハビリ職にできる可能性を広げたい」

私は災害医療に携わる日本DMAT(災害派遣医療チーム)の資格を有し、日本赤十字社の災害医療コーディネートチームの一員として活動しています。東日本大震災を経験し、「支援される側」から「支える側へ」という思いを強く持つようになりました。

また、プロスポーツチームへの常同経験を通じて、スポーツ現場でのトレーナー活動にも力を入れています。現在は日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)の資格取得を目指し、選手のサポートに取り組んでいます。

「ケガをしてから治す」だけでなく、「ケガを未然に防ぐ」という視点を大切に、安心して生活・活動できる社会の実現に貢献していきたいと考えています。

理学療法士を目指す方へ /

理学療法士は、人の「動く」を支え、その人の人生に関わる仕事です。

簡単ではありませんが、その分、大きなやりがいがあります。

「誰かの力になりたい」という想いがあるなら、その気持ちを大切に、ぜひ挑戦してみてください。



1日の業務スケジュール

8:30 出勤 / 朝礼

8:45 リハビリ開始

12:15～
13:00 昼食

13:00～
17:00 カンファレンス / リハビリ /
記録・書類作成

17:00 業務終了



プロスポーツチームへの常同



災害訓練への参加



水戸赤十字病院登録医紹介

当院の基本方針である「地域に愛され、信頼される病院」「安全かつ良質な医療の提供」を推進するための心強いパートナーとなる登録医の先生をご紹介します。

石渡産婦人科病院

当院では複数の医師による充実した医療体制を整え、人工授精・体外受精・顕微授精などの不妊治療から妊娠・分娩まで一貫した治療を行っています。

赤ちゃんを望まれる方、ご出産をされる方、女性特有の疾患の診療など、女性のトータルサポートホスピタルとして皆さまの健康な生活をサポートしております。

今後も、よりよい環境づくりと先進の医療技術の導入、そしてスタッフ全員の願いである「明るく、そして温かい雰囲気の病院づくり」をめざし、日夜努力してまいります。



院長
石渡 勇 先生

《当院紹介》

【産科】

高次医療機関と密接な連携のもとに、周産期管理に重点を置き、正常およびローリスクの分娩を扱っています。ハイリスクな症例は早期に高次医療機関に紹介しています。ハイリスク妊娠は茨城県周産期センターへ、分娩後のハイリスク新生児は県立こども病院へ、分娩後のハイリスク産褥婦は茨城県周産期センターや水戸赤十字病院へ搬送いたしております。

それぞれの施設に約15分で到着できる恵まれた医療環境のもと、安心してご出産にのぞめるよう、スタッフ一同、皆さまの妊娠生活、ご出産をサポートしてまいります。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
(受付開始8:30)9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	休
(受付終了17:30)14:00~18:00	●	●	●	休	●	●	休

住 所：水戸市上水戸1-4-21(駐車場あり)

T E L：029-221-2553

診療科：産婦人科

休診日：木曜午後・日曜・祝日

HPはこちらから!



ふじえだクリニック

笠間市でクリニックを開業し、地域医療に携わっております。岡山県の出身ではありますが、縁あって茨城県に来てから15年以上になります。大学卒業後は岡山県のへき地医療に従事し、地域医療、保健業務に携わり、生活習慣病などのプライマリケア、在宅医療など、かかりつけ医として地域に密着した医療を行ってきました。

2009年より茨城県立中央病院に赴任し、消化器領域の内視鏡治療、癌に対する抗癌剤治療・緩和ケア、救急医療に従事してまいりました。内視鏡検査については通常の上部内視鏡、下部内視鏡検査に加え、食道・胃・大腸の早期癌、胆・膵疾患の内視鏡治療、緊急処置など、年間数百件の検査・処置を行ってきました。癌治療についても食道がん・胃がん・大腸がん・胆道が



院長
藤枝 真司 先生

ん・膵がんなど主に消化器癌の化学療法を担当し、外科・放射線科・緩和ケア科、その他多岐にわたる診療科との連携のもと、多くの方の治療を担当させていただきました。

専門性を活かしながら、地域のかかりつけ医として、少しでも地域医療の力になれるクリニックにしていけるよう、スタッフ一同精進して参ります。

何卒よろしくお願いいたします。



《当院紹介》

上部、下部内視鏡検査・超音波検査など専門性を生かした消化器領域の検査、治療

高血圧・高脂血症・糖尿病など生活習慣病、内科全般、プライマリケア

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~11:30	●	●	●	休	●	●	休
15:00~17:30	●	●	●	休	●	休	休

住 所：笠間市東平3丁目1番40号(駐車場あり)

T E L：0296-71-5500

診療科：内科、消化器内科

※初めての方は午前診療は11:30まで、午後は17:00までにご来院ください。

HPIはこちらから!





受診の際にはマイナ保険証をご利用ください

受診時にマイナ保険証をご利用いただき、必要な情報提供に同意することで、次のようなメリットがあります。

- 特定健診情報や他医療機関の診療情報を当院の医師が閲覧でき、より多くの情報に基づいた適切な診療を受けることが可能となります。
- 高額な医療を受けることになった際、限度額適用認定証がなくても、限度額を超える支払いが免除されます。

詳しい制度については厚労省ホームページをご確認ください。
(こちらのQRコードから閲覧できます。)



※マイナ保険証をお持ちでない方は、資格確認書をご提示ください。
※マイナナンバーカードの健康保険証利用には申込みが必要ですが、病院に設置している顔認証付カードリーダーからも手続きができます。
※マイナ保険証利用の場合でも、各種医療証(公費負担医療受給者証、乳幼児医療費証、特定疾病療養受領証等)は従来どおり窓口での提示をお願いします。

「水戸日赤でお産」という選択肢

産婦人科医と経験豊富な助産師たちが、妊婦さんを丸となってケアします。ハイリスクでない方も、里帰り分娩の方も、当院でのお産を歓迎します。

産科の電話予約について

受診希望の妊婦さんからの電話予約を受け付けております。

☎029-221-5177(代)

受付時間 9:00~16:30(月~金)

※休診日(土・日・祝日など)を除きます。

「産科外来の予約を希望」とお伝えください。



早期発見があなたの健康を守ります

便潜血検査で「要精密検査」となった方へ

大腸がん精密検査のWEB予約が可能です!

スマホから簡単に手続き出来ます

当院では、がん検診や人間ドックで便潜血陽性となった方を対象に、大腸がんの可能性を詳しく調べる検査を実施しています。

予約



検査について



就任のお知らせ

【令和8年5月1日付】

初期研修医

すずき たかひろ
鈴木 尊裕

上記の医師が就任いたしました。よろしくお願いいたします。

退任のお知らせ

【令和8年5月31日付】

なかむら たいち
腎臓内科部長 中村 太一

こばやし なおや
外科 小林 直哉

上記の医師が退任いたしました。大変お世話になりました。

読者アンケート×プレゼント企画!

高さ
約30cm



病院広報誌「虹」をより良くするために、皆さまのお声をお聞かせください。アンケートに回答いただいた方の中から抽選で2名様に、**ハートちゃんぬいぐるみ大(左写真)をプレゼント**いたします!ぜひご協力をお願いいたします。

1分アンケートにご協力をお願いします!

こちらのQRコードを読み取って回答いただけます。
回答期限は令和8年8月31日までです。



理念と基本方針

理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神のもとに全人的医療の提供に努め、患者の皆さまの権利を尊重します。

基本方針

1. 地域に愛され、信頼される病院として、皆さまとともに歩み続けます
2. 安全かつ良質な医療の提供に努めます
3. 患者の皆さまの権利を尊重します
4. 赤十字の使命に基づき、救急医療及び災害救護の充実に努めます
5. 健全な経営に努め、働きやすく活気あふれる職場づくりに取り組みます



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

水戸赤十字病院

バックナンバーはこちら▶

過去の記事はHPからご覧いただけます。



〒310-0011 水戸市三の丸3丁目12番48号
TEL: 029-221-5177(代表)
FAX: 029-227-0819(代表)
編集: 水戸赤十字病院広報委員会
発行責任者: 事務部長 大高 幹夫

◆診療受付 初診/8:30~11:00
再診/7:30~11:00
◆診療開始 8:30 ※診療科、曜日によって例外があります。ご注意ください。
◆休診日 土・日曜日、祝日及びその振替休日、日本赤十字社創立記念日(5月1日)、年末年始(12月29日~1月3日)

夏バテ予防
火を極力使わない

虹かける健康レシピ ～管理栄養士監修～ 彩り夏野菜のタコライス風サラダごはん

材 料 (2人分)

ごはん	300g	鶏ひき肉	120g (市販のサラダチキンでも可)
【A:サルサソース風合わせ調味料】		レタス	100g(2～3枚)
中濃ソース	18g(大さじ1)	トマト	150g(1個)
ケチャップ	15g(大さじ1)	コーン缶	40g
カレー粉	1g(小さじ1/2)	卵	2個

作 り 方

- ① 鶏ひき肉にAを加えてよく混ぜ、電子レンジで加熱し、粗熱を取る。
- ② レタスは一口大にちぎり、トマトは小さめの角切りにする。
- ③ 卵はゆで卵にし、4等分に切る。
- ④ 器にごはんを盛り、レタス・トマト・コーン・鶏ひき肉・卵を彩りよく盛り付ける。

POINT 鶏肉と卵でしっかりとたんぱく質が摂れる一品です。夏野菜と組み合わせることで、暑い時期でもさっぱりと食べることができます。塩分量は1g以下に抑えつつ、トマトやコーンの甘味がアクセントになっています。



栄養成分 (1人分)	エネルギー	たんぱく質	脂 質	炭水化物	食塩相当量
	500kcal	22.3g	13.2g	56.4g	0.9g

院 長 コ ラ ム vol.6

Long Way To Go ～まだまだ先は長い～

手術を助けるロボットには、それぞれに独自の個性があります。国産の「hinotori」も、本来は大きな可能性を秘めたロボットです。しかし、世の中では「使い勝手が悪い」という声が聞かれます。私は、その理由を単に機械の性能だけで語ることはできないと感じています。長い年月をかけて私たちはダビンチに慣れ、その操作感が“当たり前”になりました。新しい道具が現れたとき、その当たり前が時に私たちの視野を狭めてしまうことがあります。つまり、ロボットが悪いのではなく、使い手である“私たちの側”がまだ十分にアップデートされていないのでは

ないか、そんな思いが胸に浮かびます。

医療は、道具だけが進化しても前には進みません。大切なのは、その進化に合わせて人もまた柔軟く変わっていくことです。新しいロボットの特徴を理解し、その力を引き出すために、自分の手技や考え方を少しずつ見直していく。人が成長することで、道具は初めて本来の力を発揮します。

これからも、技術の進歩に寄り添いながら、人の育ちを大切に、患者さまに安心していただける医療の提供に努めて参りたいと思っています。

水戸赤十字病院 院長 野澤 英雄



ご報告

笑顔あふれるひととき -「看護の日」イベントを開催しました-



令和8年5月12日(火)、当院本館エントランスホールにて「看護の日」イベントを開催しました。「看護の日」は、近代看護の基礎を築いたナイチンゲールの誕生にちなみ、5月12日に制定されています。

当日は、救護員制服を着用した看護師による風船のプレゼントが行われ、駆けつけてくれたハートちゃんとともに患者さまをお迎えしました。会場には笑顔があふれ、和やかな雰囲気になりました。

また、認定看護師やリハビリテーション科による講習をはじめ、管理栄養士や薬剤師による相談コーナーを設け、多くの皆さまにご参加いただきました。今後も地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、より良い看護と医療の提供に努めてまいります。

当院の情報は
こちらから！



HP



Instagram



Facebook